

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16109004	B リンパ球のホメオスターシスと活性化の制御機構の研究	高津 聖志 (富山大学・大学院医学薬学研究部・客員教授)	A

研究代表者らは、B細胞ホメオスターシスの制御に焦点を当て、B-1細胞の生存や維持および粘膜固有層におけるIgA産生やCD38刺激B-2細胞でのIgG1産生細胞へのクラススイッチにおけるIL-5の作用を詳細に検討し、それぞれの場におけるIL-5の作用機序を明らかにした。また、B細胞分化ならびに活性化において、B細胞内のアダプター分子であるLnkやAPSが重要であることを示したことに加え、Lnkが造血幹細胞増殖や分化に対しても制御作用を及ぼしているという興味ある結果を報告している。一方、結核菌を用いたin vitroにおけるTh1誘導機序の解析も行い、T-betに代わるTh1誘導因子の存在を示唆する重要な知見を得ている。これらの多くの成果は、期待通り研究が進展した結果であると判断される。なお、個々の評価については、今後の研究の進展からさらに高まる可能性が秘められており、これらの研究成果がさらに免疫療法へと応用されることも期待される。